

令和4年度 学校だより 冬休み号

～やさしく かしく たくましく～

〒190-0033 立川市一番町5-8-5

TEL 042-531-3821

FAX 042-531-6058



令和4年 12月 23日

立川市立松中小学校

校長 佐藤 邦彦

校報 令和4年11号

学校創立 昭和46年

道徳授業地区公開講座を振り返って

校長 佐藤 邦彦

「いよいよ卯年！」何と早いものであと少しで今年も終わります。来年は「寅（とら）」からバトンを受け「卯（うさぎ）年」になります。色々な解釈がありますが、「卯年（うどし）」は“うさぎのおとなしい性格のようにおだやかな年”“高く跳ねる力強い姿から「飛躍」「向上」する年”でもあるそうです。つまり、落ち着いた環境の中で練習や準備していたことを存分に発揮して大きくジャンプアップする年ということでしょうか。

今年もコロナ禍により様々なご理解やご協力をいただきながら、大きな行事も教育課程通りに実施することができました。来年こそは落ち着いた、安全安心な生活が送れる年にしたいと願っています。

ぜひ年末年始には、新たな気持ちで、家族で来年の目標・抱負を立てていただき、その実現を目指していただきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、今年も松中小学校を応援し、支えていただき本当にありがとうございました。そしてお世話になりました。どうかおだやかな年末年始をお迎えいただくようお願いとともに、来年も松中小学校をよろしくお願いいたします。

【道徳授業地区公開講座】

11月26日の道徳授業地区公開講座・学校公開にご来校いただき、ありがとうございました。

平成30年4月1日より施行された道徳の教科化は、(1)深刻ないじめによる痛ましい問題の多発 (2)情報通信技術の発展が子どもの生活に影響を与えていること (3)子どもを取り巻く地域や家庭の変化 (4)子どもたちの低い自己肯定感や社会参画への意識等がその背景にあると言われていています。今後、人口減少や超高齢化社会の到来、さらにグロ

ーバル化の進展、情報通信技術や科学技術の急速な進歩等により現在の社会とは全く違う社会がやってくると思われれます。誰も経験したことの無い状況下での生活となり、現在ある社会の常識が通用しなくなることも考えられます。こうした変化に対応できる力としては、(1)自律的に活動する力 (2)異質な集団で交流する力 (3)相互作用的に行動する力だと言われています。このような社会を生き抜くためには、子どもたちが道徳的価値を自覚するために、自らが感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向をめざす資質・能力を備えることが重要になってきます。その際、こうした資質・能力の育成に向け、道徳教育は大きな役割を果たしていると思われれます。

『特別の教科 道徳』で変わったことは、まず授業です。「考える道徳」「議論する道徳」になりました。授業を通して、子どもたちが困難な問題に対処することができる力を育成します。取り上げる教材の中で、事象を深く見つめ、自分はどうすべきか、自分に何ができるかを考える授業を行っています。

全学年 内容項目「生命の尊さ」を取り上げ、公開授業をさせていただきました。

教材名

1年・まつのみ低「ハムスターのあかちゃん」

2年「ぼく」

3年「おじいちゃん、おばあちゃん、

見ていてね」

4年「バルバオの木」

5年「コースチャぼうやを救え」

6年「東京大空襲の中で」

まつのみ高「いのちはいくつもあるのかな」

子どもたちの豊かな心の育成に向け、引き続き、ご理解・ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【1月の行事予定】

1	日	元日
2	月	振替休日
3	火	
4	水	閉庁日
5	木	
6	金	
7	土	冬季休業日終
8	日	西砂川マラソン大会(七中会場)
9	月	成人の日
10	火	始業式
11	水	安全指導 未来塾(5年) 給食始 まつなか塾⑬(4年)
12	木	子供を笑顔にするプロジェクト両国国技館相撲観戦4~6年 計測2年
13	金	たてわり班長会議(中休み) 計測1年
14	土	
15	日	
16	月	学校朝会(1年) 委員会活動 キラリ指導始 計測5・6年
17	火	計測3年
18	水	なわとび集会 なわとび週間始 まつなか塾⑭(3年) 未来塾(5年) 計測4年・まつのみ
19	木	いじめみのがさあずディ
20	金	校内書写展(~30日) 立川市民科公開講座(6年起業家発表)
21	土	
22	日	
23	月	音楽朝会 避難訓練(2校時) クラブ活動⑩(3年見学)
24	火	5年校外学習(TGG立川)
25	水	児童集会 なわとび大会 なわとび週間終 まつなか塾⑮(2年) 未来塾(5年) のびようタイム(1年) 七中職場体験
26	木	七中職場体験
27	金	たてわり班遊び(昼休み掃除なし) 七中職場体験
28	土	
29	日	
30	月	学校朝会(キラリ) クラブ活動⑪ 読書週間(~2/10)
31	火	たてわり班長会議⑥(中休み/5年生)

西砂川マラソン大会

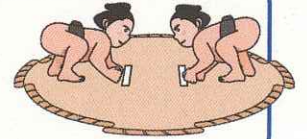
場所：立川第七中学校
 レース低学年受付 9:10 スタート 9:50
 高学年受付 9:50 スタート 10:30
 中学生・一般 受付 10:35
 スタート 11:15
 参加希望の方でまだ参加票を取りに来ていない方は、26・27日事務室に参加票を取りに来てください。

始業式

1月10日(火) 8:20までに登校
 始業式 8:30
 下校 12:10頃
 詳細や持ち物等については、学年だよりをご確認ください。

子どもを笑顔にするプロジェクト

4~6年生が両国国技館で大相撲観戦を行います。詳細は別紙のお知らせをご確認ください。当日は1・2校時終了後、軽食を学校で取り、バスで出かけます。あまり時間もありませんので、食べやすいおにぎりなどご準備ください。



立川市民科公開講座

6年生が今年度立川市民科で取り組んだ「起業家教育プロジェクト~麦プロジェクト~」の発表を体育館で3・4校時で行います。参観対象は、6年保護者と地域になります。

冬休み中のコロナ陽性者の連絡について

12月24日(土)~1月9日(月)までの冬季休業日の期間に新型コロナウイルス感染症になった場合の学校への連絡は必要ありません。

3学期始業式にお休みになる場合は、1月10日(火)の7:30~8:15までに学校へご連絡ください。

楽しい冬休みをお過ごしください。そして、よいお年をお過ごしください!



【道徳授業地区公開講座のアンケートのまとめ】

今回は、全学年が「いのちにかかわる授業」（「生命の尊さ」の【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】）の道徳的価値を扱った教材を使い、授業を行いました。

その後、体育館にて元本校教員、元日野市立日野第三小学校長 京極澄子先生に「すべての子供たちが輝くために～ユニバーサルデザインの教育～」という演題で講演をいただきました。コロナ禍で保護者の皆様と一緒に勉強する機会をどうしてもつくりたくて、講演会形式をとらせていただきました。

また、今後の教育活動の参考にさせていただくため、「いのちの尊さ」等について、アンケートをいたしました。ご協力ありがとうございました。

1 「いのちの尊さ」について

(1) ご家庭で「いのちの尊さ」について、子どもたちにどのような場面でどのような話をされていますか

※日常生活の色々な場面で話します。一番は交通安全が多いように思います。朝、「気を付けてね」、「うん、ママもね」と声を掛け合っています。

※家で大切に飼っていた生き物が死んでしまった時、悲しくて寂しい気持ちになることをお互い話し、「ありがとう」という言葉を掛けて、お別れしました。

※私たちはおじいさん、おばあさん、その前の祖先の人たちとつながっていて、今の自分はそうしたつながりの中で存在しているという話をすることがある。

※子どもが生まれ育ち、一緒に居てくれることは、奇跡である。だから、あなたが大事、お父さんもお母さんもみんな大事であることを話している。

※誰かに向けて「死」を連想する言葉を簡単に使ってしまうようなことがあったら、命は誰にとっても大切に、その言葉は絶対に使ってはいけないと教えている。

※昔の写真などを見せ、生まれたばかりの赤ちゃんでもたくさんの人を動かすパワーがあることをエピソードと共に話して、自分の命の大切さを分かってもらえるようにしている。

2 「自然愛護」について

(1) ご家庭で「自然愛護」について、子どもたちにどのような場面でどのような話をされていますか。

※キャンプや登山に行くことで、自然の尊さ、美しさを自分の目で見て大切だなと感じてくれたらと思っています。

※人間も自然の中で生かされていて、動植物と共に生きていることを庭で野菜を育てたり、本やテレビなどの動物の生態を知ることが生活の中で行っている。

※食物の水やりや木を植えることがテーマの絵本などを通して興味をもってくれた時に話している。

※資源や身の回りの物は、お金を出せば買えるという気持ちではなく、使い方を見直したり補修、節約したりし、環境のためにもなること、色々な物や人（自分も）大切にできるといいねなど話している。

※人だけでなく動物も植物も皆さん生きていて、大切な命なんだよ。「いただきます」は、命をいただくことなんだよと折に触れ伝えている。

※地球規模で考えず、身近なところからできる範囲で触れていくことが子どもにとっては良いようです。植物、昆虫も命があって生きようとしていて、存在理由なども話をしています。

※海や川、林や山などにごみが捨てられている光景を見たときに、住んでいる動物や植物はどうなってしまうのか等の話をする。



【講演会】

すべての子どもたちが輝くために
～ユニバーサルデザインの教育～

講師 元明星大学発達支援研究センター
元日野市立日野第三小学校長
京極 澄子 先生

「海から出ている氷山」

自己実現・自己肯定感

承認

社会的

安全

生理的

人への信頼感
安心感

「海のような愛に包まれて」

マズローの5段階欲求 (下から一つずつ満たされていく)

「海から出ている氷山」

自己実現できない
自己を肯定できない

承認

社会的

安全

生理的

人への信頼感
安心感

「海のような愛に包まれて」

マズローの5段階欲求 (下から一つずつ満たされていく)

ほめるスキル

- ① **事実をほめる**
 - △「最近がんばってるね」
 - ◎「宿題を積極的にやるようになってがんばってるね」
- ② **メッセージでほめる**
 - △「お友達に優しくできたね」
 - ◎「ママ、〇〇ちゃんがお友達に優しい言葉をかけていたので感激したよ！」
- ③ **プロセスをほめる**
 - ◎「何度も漢字の練習してがんばったね。立派だよ。」
- ④ **小さいこともほめる**
 - ◎「いつもお箸をそろえてくれてありがとう。母さん、助かるわ」
- ⑤ **肯定的にほめる**
 - △「ゴミを散らかさなかったから、よかったね。」
 - ◎「ゴミを袋に入れて持って帰ったのは、よかったね。」

ほめて伸ばす？ 叱って伸ばす？

【講演会 感想】

- ※京極先生のお話を伺ってとても心を打たれ、胸に刻んでおきたいことばかりでした。色々な気づきを教えていただきました。
- ※京極先生は、肯定的にほめる、三匹のタイ等、分かりやすく実践的な教育法を教えてくださいました。
- ※とても興味深いお話でした。どんな人にも寄り添うことのできる自分になろうと思わせていただいた。子どもと接するときも、子どもなりの考え方などがあると思うので、しっかり話を聞き、受け止めようと思う。
- ※周りの方と我が子の良い所について話した時、我が子の良い所をたくさん言えて、周りの方と共有し合え心が温くなりました。子どもの心に住む3つのタイのことやほめ方のスキルを念頭に置き、自分自身の子育てを楽しんでいきたい。
- ※講演会では、「最近、子どもを褒めていますか」にハッとさせられました。リフレーミングを実践し、自分の守備範囲を広くしたいと思う。

【道徳の授業 感想】

- ※命には国境も優劣もない。全てが尊いと知れた学びを大切にしてほしい。
- ※日々の生活や考え方に直結するような授業は大切。学問と生きる力を学んでほしい。
- ※「どうして命は大切なのか？」ということを通して考えられたことは、子どもたちや大人にとっても非常に良かった。
- ※与えられた課題に対して真剣に考え、短時間で自分の意見を述べる子どもたち。その素直さを大切に。